

黒岳～越前岳

2015.10.26 (月) 単独

十里木 7:00～(バス) 7:15 愛鷹山(あしたかやま) 登山口～7:30 山神社登山口
7:40～8:15 あしたか山荘 8:20～8:25 富士見峠～黒岳展望広場～8:50 黒岳(1087
M) 8:55～9:15 富士見峠～9:45 鋸岳展望台～10:25 富士見台 10:35～11:00
越前岳(日本二百名山、1504m、昼) 12:15～13:30 十里木駐車場 13:50～(上九の
湯で入浴、甲府南 i c・安曇野 i c 経由) 17:50 帰宅(総走行 409km)

前日は渋滞と十里木高原ペンション村に迷い込んでしまい(ナビのせいで)登山口駐車場の到着が遅くなってしまった。早速缶ビール 500 と 350 を 1 本、菊水ふなぐちを 2 本飲んで寝る。綺麗なトイレがあるので助かる。前の道路(469号線)は交通量が多いので、明日は自転車は危険なのでバスにしようと思う。バスの始発駅の十里木集落まで 400m歩いて乗る。途中のペンション村では小学生が乗り込んで来る、通学バスのような。山神社登山口は懐かしい、2年前の 11/29 に埼玉県の Uさんと難所の鋸岳～位牌岳に登山した時の合流場所だった。



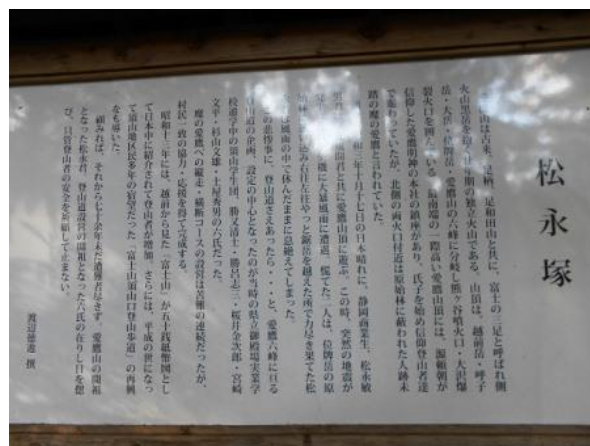
← 山神社登山口

車は 2 台のみ、平日のせいか少ない。登山口には遭難碑があった。針葉樹林帯の登りが始まる、途中から広葉樹になってあしたか山荘に着く。古い文章には「荒蕪」と書かれているし、私の持参した昭文社の山地図(2009年版)には記載が全くないので以外だった。トイレもあり、中を覗くと小奇麗になっているし、毛布や水・薪・鍋等備品も揃っている。善意の方が管理されているようで、ご自由にお使い下さいとも書かれている。ただ沢の水は秋のせいか濁水していた。

松永塚



その説明文



あしたか山荘



山荘内部



←ユニーク

小屋からすぐに富士見峠に出た。黒岳を往復するべく右折する。途中に黒岳展望広場があって富士山を昨日とは反対側から眺める。木の根がうるさい道を行くと黒岳山頂手前には杉の自然林があった。黒岳山頂は広々としていて気持ちが良い。富士山の展望も素晴らしい。麓には自衛隊の東富士演習場が広がっている。富士見峠に戻り愛鷹連峰の最高峰の越前岳目指して歩く。

富士見峠



鋸岳です



登山道の両脇は木があって展望は悪い。時々演習場の発射音らしき大きな音が聞こえる、住民も迷惑だろう。途中に鋸岳展望台があり、鋸岳から位牌岳への厳しいギザギザの稜線が見える。懐かしい、一応登山禁止で自己責任で歩く区間であったがそれほど危険ではなかった。

黒岳展望台からの富士山



黒岳から



懐かしい鋸岳



富士見台



越前岳



駿河湾方面



さらに歩くとその先には富士見台と名付けられた展望地がある。紙幣の写真を撮影した場所との事。残念ながら富士山は雲の中に入ってしまっていて見えない。越前岳山頂に到着、広々としていて駿河湾方面の展望が良い。残念ながら海から雲が流れてきてしまった。ベンチやテーブルが置いてあるのでユックリ食事・休憩する。十里木から登ってくる登山者が延べ10人ほど来た。此处までは1組しか会わなかったの、十里木からの登山者が多いよう

だ。富士市や富士宮から近いようでその方面からの登山者が多いようだ。

十里木高原展望台、富士山は雲の中に



品の良い方と話し込むが私より2歳年上との事だが見た目が若い。山慣れした方でお医者さんだった。「三浦雄一郎に似ている」と言われる。自分では似ていないと思うのだが何故かそういわれるのは3人目である。髭すらで品の無い顔をしているのに嬉しい事だ。未踏区間の呼子岳まで往復すべきだったが天候がイマイチなので下山する。途中時期がら又キノコが気になるが此処も倒木や切り株が古くて乾燥していてキノコっ気は無かった。展望台や電波中継塔や反射板を通過すると十里木駐車場は近い。駐車場はほぼ満車状況。朝霧高原を通過して途中「上九の湯」で入浴して帰宅したが甲府から諏訪にかけては快晴で八ヶ岳や南アルプスがクッキリ展望できた。矢張り海からの雲がいけなかったようだ。反対側からは富士山がスッキリ見えたのだろう。

赤沼健治